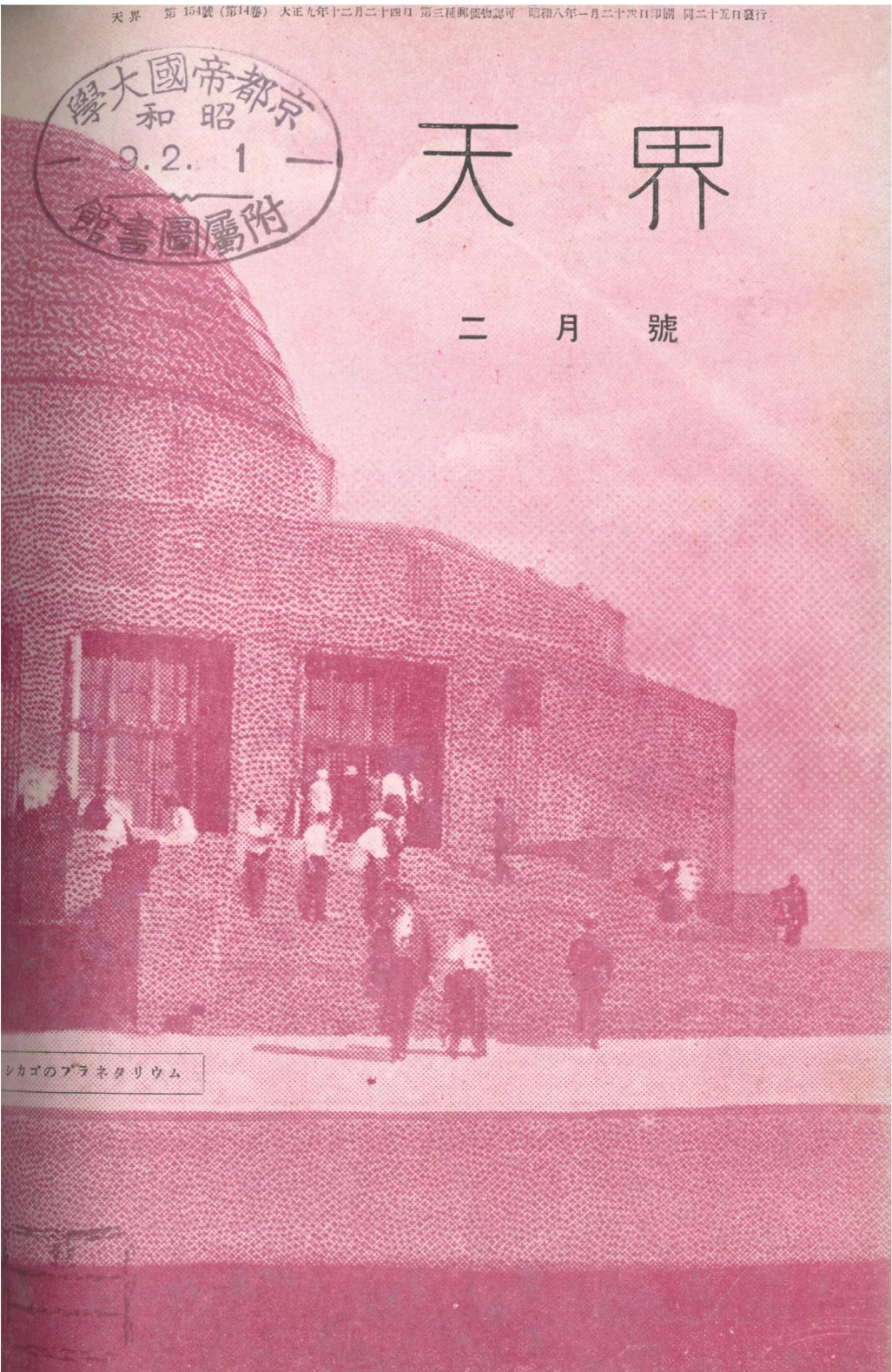


學大國帝都京
和昭
9.2.1
館書圖屬附

天界

二 月 號



シカゴのアネタリウム

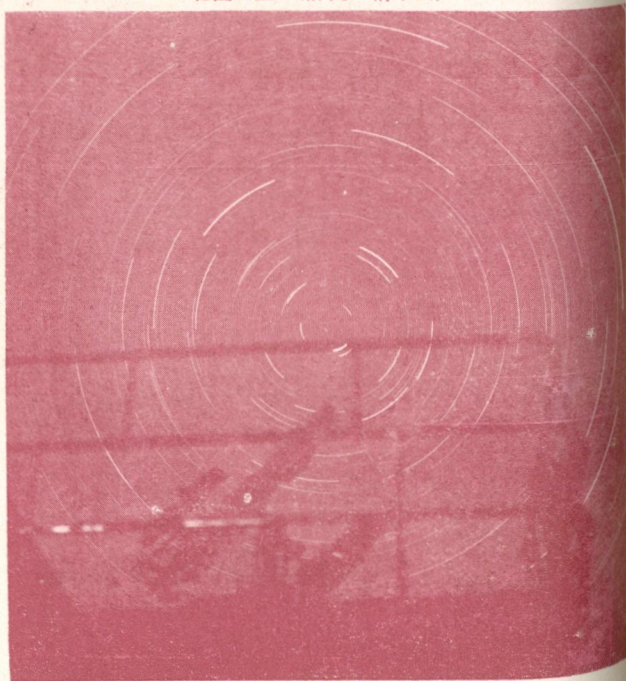


葛城伯花山へ御成りの日 (去12月13日)

北極の空 (静岡 清水氏)



遊星掩蔽の夕
(高知 正木氏)



(No. 39) May. 27.1933

21h 40m—0h 0m

Exp. 2h 20m

昭和九年二月例會は下の如く開きます。例により遠近より會員諸氏の來會を歓迎します。

時日： 二月十八日(日曜)午後三時

場所： 京都帝國大學花山天文臺

電車は東山通仁王門にて乗り換へ、東行し、¹「蹴上げ」で下車、それから東海道筋を五丁ほど東進し、²「花山道路」に入る。

又は、三條大橋から³「花山道路」入口まで乗合バスあり。

當日、下の如き講演があります。

講演： 理學士 小山秋雄氏 『變星の天文學』

天 界 第 百 五 十 四 號 (第 十 四 卷) 昭 和 九 年 二 月 號 要 目

花山での葛城伯御一行。寫眞課員の近業(遊星掩蔽等々) (口繪)

昨1933年の天文界の回顧と……1934年の天文界……………	121	
原子は人工により變轉す(講演)… 臺北帝大教授理學博士 荒勝 文策…	123	
日食觀測前奏曲…………… 理學士 柴田 淑次…	131	
研 究 欄	天界新知識(10件)……………	133
	花山だより……………	138
研 究 欄	東亞天文協會觀測部の關○注意○流星課○太陽課○彗星課 ○變星課○寫眞課○遊星面課○豫報課……………	139
	掩蔽課の新設……………	149
犬の星座(2)……………	岡山 水野 千里… 151	
醫者と天文臺……………	154	
北米旅行記(5)……………	理博 山本 一清… 155	
昭和九年二月の天象……………	158	

Contents of the HEAVENS, No. 154 (February, 1934)

Count Katuragi's Party, Photographs of Recent Occultations of Venus and Saturn (Frontispiece); Astronomy in 1933 and 1934 (121); B. Arakatsu, Artificial Transformations of Atoms (123); Yusui Sibata, Prelude to Eclipse Expedition (131); LATEST KNOWLEDGES ON ASTRONOMY (133); Kwasan Notes (138); Columns of Observing Sections, O. A. A. (135); Inauguration of Occultation Section (149); Ch. Mizuno, Constellations of Dogs, II (151); Doctors and Observatory (154); Issei Yamanoto, American Tour, v. (155); Heavens of February, 1934. (158),

東亞天文協會觀測部 (Observing Section, O. A. A.)

大正十年九月に組織されたもので、會員中の實際天文研究に興味を有する者より成る。今下記の十課に分れてゐる。

1. 流星課 (課長 小椋孝二郎)
2. 彗星課 (課長 柴田淑次)
3. 變星課 (課長 小山秋雄)
4. 太陽課 (課長 上島昇, 幹事 山本英子)
5. 黃道光課 (課長 荒木健兒, 幹事 淺野英之助)
6. 豫報課 (課長 山本一成)
7. 機械課 (課長 木邊成鷹)
8. 寫真課 (課長 龜井壽彦)
9. 遊星面課 (課長 山本一清, 幹事 木邊成鷹, 宮本正太郎)
10. 掩蔽課 (課長 高城武夫, 幹事 太田量平)

東亞天文協會觀測部規定 (昭和6年11月22日決定)

- 第一條 本觀測部ハ東亞天文協會ノ目的ヲ達スル爲メノ一事業トシテ、天體ノ觀測研究ヲ行フ。
- 第二條 本觀測部ニ下記ノ若干課ヲ置ク。
流星課、彗星課、變星課、太陽課、黃道光課、豫報課、機械課、寫真課、遊星面課、掩蔽課。
- 第三條 課長ハ部長ノ監督ノ下ニ、各課ノ事業ヲ統括シ、幹事ハ課長ヲ補佐スル。
- 第四條 東亞天文協會員ハ希望ニヨリ本觀測部員トナル事ガ出來ル。
- 第五條 部員ハ觀測上ノ必要ニヨリ課長ノ指導及ビ種々ノ印刷物ノ配布ヲ受ケル。
- 第六條 部員ハ部費トシテ東亞天文協會々計ハ月十錢ノ割デ年末マデノ分ヲ前納ノ事

東亞天文協會(舊名天文同好會)規則摘要(和7年10月15日改正)

天文學ノ研究及ビ會員相互ノ親睦ヲ増スノガ目的デアル

本部ヲ京都帝國大學山天文臺内ニ置ク 又會員密集ノ地ニハ支部ヲ置ク

會ノ事業

- 一. 講演 (例會毎月一回、總會年一回、其他臨時會)
- 二. 講習 (各デ臨時ニ開ク)
- 三. 雜誌圖書ノ出版 (雜誌 "天界" ハ毎月會員ニ無代配布、圖書ハ臨時)
- 四. 研究見學及ビ實地觀測 (本會ニ觀測部ヲ置キ、別記ノ規約ニ依ル)
- 五. 天文臺ノ經營 (會員ニハ特權ガアル)

會 員 此ノ會ノ目的ニ賛スルモノハ誰デモ入會ガ出來ル。會費ハ每曆年度ニツキ前納金參圓トスル。但シ中途入會ノ場合ハ月參拾錢ノ割デ年末迄前納ノ事

維持會員 本會ノ經營ヲ支持スル趣意デ毎年金貳拾圓以上ヲ獻出スル者

名譽會員 一時金壹百圓以上ヲ寄附スル者及ビ總會ニ於テ特ニ推舉セラレタ者

役 員 會長 副會長 會計監督 各一名 幹事 二名 會計 一名

評 議 員 若干名 役員ノ相談相手トナル

東亞天文協會

大正九年(1920年)創立, 昭和七年(1932年)改名

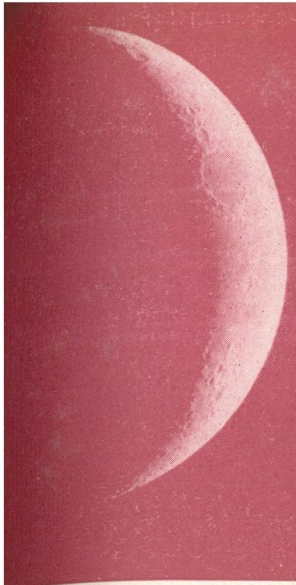
會長	山本一清(京都市梨ノ木町今出川下ル東)〔電話上5098〕
副會長	水野千里(岡山市門田21)
會計監督	池田政晴(京都市左京區岡崎黒谷町11)
幹事	竹田新一郎(京都市上京區石藥師通河原町西入)
同	稻葉通義(京都市花山天文臺) }〔電話上6165〕
會計	高城武夫(同上)
本部	京都市山科, 花山天文臺〔電話上6165〕
倉敷天文臺	岡山縣倉敷市〔電話35〕——原名譽臺長〔電話75〕

一支 部一

同志社大學內〔電話上430〕	室町錦上ル明倫小學校〔電話本2236〕	垂石	井橋	增榮	太郎	郎達
京都市第三高等學校〔電話上301〕	京都市安土町三丁目船場小學校〔電話本930〕	井小村	伊秀	伊秀	秀二	勇郎
大阪府豐中中學校〔電話岡町118〕	和歌山縣有田郡金屋	井小村	伊秀	伊秀	秀二	次場
兵庫縣尼崎區關守町〔須磨140〕	神戶市須磨區關守町〔須磨140〕	井小村	伊秀	伊秀	秀二	義里
姫路高等學校〔電話1145〕	岡山市門田21	井小村	伊秀	伊秀	秀二	三
岡山市山下96〔 〕	津山市山下96〔 〕	井小村	伊秀	伊秀	秀二	郎
高松市	高松市	井小村	伊秀	伊秀	秀二	夫
松山高等學校〔電話松山 395〕	廣島市白島北町158	井小村	伊秀	伊秀	秀二	吉
山口縣立教育博物館〔電話294〕	山口縣立教育博物館〔電話294〕	井小村	伊秀	伊秀	秀二	夫
下關市丸山町梅光女學院〔 〕	福岡縣前原町西町	井小村	伊秀	伊秀	秀二	夫
熊本縣立工業學校〔電話252〕	大牟田市通町二丁目207	井小村	伊秀	伊秀	秀二	夫
第七區德川町6ノ6〔東4204〕	濱松市	井小村	伊秀	伊秀	秀二	夫
濱松市	世田谷區弦巻町1の142〔電話世田谷3050〕	井小村	伊秀	伊秀	秀二	夫
長野縣上田市原町三丁目〔 〕	長野縣上田市原町三丁目〔 〕	井小村	伊秀	伊秀	秀二	夫
松本市筑摩部	長野縣上田市原町三丁目〔 〕	井小村	伊秀	伊秀	秀二	夫
長野縣上諏訪中學校〔電話201〕	札幌市北六條西十一丁目	井小村	伊秀	伊秀	秀二	夫
札幌市北六條西十一丁目	旭川中學校內〔 〕	井小村	伊秀	伊秀	秀二	夫
小樽市線町三丁目八番地ハノ47	奉天市葵町12の2	井小村	伊秀	伊秀	秀二	夫
奉天市葵町12の2	大連市	井小村	伊秀	伊秀	秀二	夫
大連市	臺北府	井小村	伊秀	伊秀	秀二	夫
臺北府	臺北市大正町五條觀測所〔 〕	井小村	伊秀	伊秀	秀二	夫
臺北市大正町五條觀測所〔 〕	上海狄思威余里16	井小村	伊秀	伊秀	秀二	夫
上海狄思威余里16	P. O. Box 263, Brawley, Cal., U.S.A.	井小村	伊秀	伊秀	秀二	夫
P. O. Box 263, Brawley, Cal., U.S.A.	Fazenda 1ª Alianca, E. Lussianvira,	井小村	伊秀	伊秀	秀二	夫
Fazenda 1ª Alianca, E. Lussianvira,	L. Noroeste, S. Paul, Brazil	井小村	伊秀	伊秀	秀二	夫
L. Noroeste, S. Paul, Brazil		井小村	伊秀	伊秀	秀二	夫

天界 第百五十四號 昭和九年一月二十四日印刷 (定價金參拾錢) 郵稅金壹錢

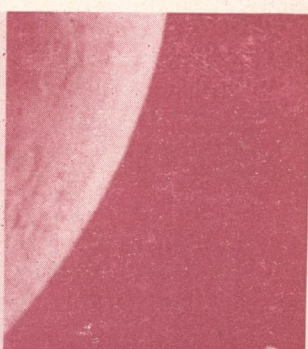
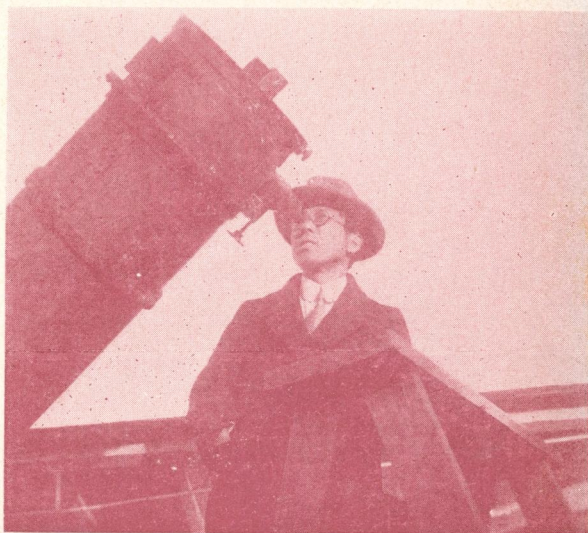
編輯兼發行者 京都市山科, 花山天文臺內(振替大阪56765) 東亞天文協會(代表者山本一清)
印刷所 京都市中京區柳馬場三條南入 株式會社似玉堂(電本426. 427. 4501)
印刷者 京都市中京區柳馬場三條南入 福井松之助
印賣 東京市芝區南佐久間町2の3 恒星社(振替東京64738)



花山天文臺にて宮本正太郎氏撮影 (46センチ反射鏡)



倉敷で掩蔽観測の山本會長
倉敷天文臺前庭の天空の景



静岡の清水氏撮影

